

道の駅価値創造セミナー(第3回)

～消費者ニーズに対応した道の駅づくり～

道の駅を取り巻く環境は、近年大きく変化しています。平成の市町村大合併が進展して、全国に広域的な自治体が誕生し、複数の道の駅を抱える自治体が増加しています。複数の道の駅を抱える自治体では、道の駅を核として、周辺の地域資源を発掘・再評価して、新たな観光振興や地域振興に取り組むとともに、複数の道の駅をネットワークして、新しい自治体の地域内連携を促進しようとしています。また、市町村合併により都市の周辺部となる旧町村部では、役所が統廃合されることにあわせて、新たな地域の交流拠点として道の駅の設置を検討する動きも見られます。このように、道の駅は、地方分権が進展する21世紀の地域社会において、ますます地域振興の拠点として、その可能性が期待されています。

株式会社日本総合研究所は、伊藤忠商事株式会社とともに、道の駅の価値創造について、これまで2回のセミナーを開催してまいりました。第1回(平成17年10月31日)では、「ブランディング手法を活用した道の駅の価値向上」と題して、これからの道の駅の方向性とビジョンを提示するとともに、道の駅活性化の方法としてブランディング手法を提案いたしました。第2回(平成18年3月2日)では、東京ビッグサイトの「ふるさと食品全国フェア」に会場を移し、全国の道の駅の特産品を展示して、商品価値の向上に取り組むとともに、「駅長は地域のコンシェルジュ」と題して、これからの駅長の役割について検討しました。

今回、道の駅価値創造セミナー第3回では、「消費者ニーズに対応した道の駅づくり」と題して、消費者に支持される道の駅づくりの方法を検討します。

まず、基調講演では、多くの先端的な大型ショッピングセンターの開発を手がけてきた株式会社ラスアソシエイツの島村美由紀社長から、「消費者ニーズからみた道の駅のビジネスチャンス」と題して、大都市の女性を中心とした消費者のライフスタイルからみた、道の駅の課題やビジネスチャンスについてご提案いただきます。

第2部では、先進的な4つの道の駅から、地域のブランド化、特産品の販路拡大、ITを活用した営業管理、地域通貨など地域づくり活動との協働についてご報告いただきます。

第3部では、伊藤忠商事株式会社 未知倶楽部室から、道の駅活性化の新たな方法として、「未知倶楽部web」を活用したマーケティングを提案いたします。

本セミナーにご参加いただくことで、道の駅活性化の情報を得るとともに、全国の道の駅関係者と交流を図り、みなさまの道の駅の価値が向上することを願っております。

会場

<日時> 平成18年7月10日(月) 13:30～18:00

<場所> 全国情報サービス産業厚生年金基金(JJK)会館
2階 多目的ホール(受講申込書の地図参照)
東京都中央区築地4-1-14

受講料

一名様につき3,000円(税込)(未知倶楽部web登録会員(個人)ならびに未知倶楽部web登録道の駅関係者は無料です)

共催

株式会社日本総合研究所 伊藤忠商事株式会社

プログラム

- 13:30 開会あいさつ 株式会社日本総合研究所 執行役員 中野 孝幸
- 13:35~14:10 (1) 基調講演「消費者ニーズからみた道の駅の新たなビジネス・チャンス」
株式会社ラスアソシエイツ 代表取締役 島村 美由紀
- 14:10~14:20 休憩
- 14:20~15:20 (2) 道の駅の先進事例発表
・道の駅水辺の郷おおやま 株式会社おおやま夢工房 経営企画室 室長 三雲 浩嗣
・道の駅賤母 駅長 楯 鑑治
- 15:20~15:30 休憩
- 15:30~16:30 (3) 道の駅の先進事例発表
・道の駅内子フレッシュパークからり 株式会社内子フレッシュパークからり 代表取締役社長 高本 厚美
・道の駅仁保の郷 駅長 古甲 征輝
- 16:30~17:00 (4) 道の駅活性化の新たな手法のご提案
・未知倶楽部webを活用したマーケティング
伊藤忠商事株式会社 未知倶楽部室長 賦勺 尚樹
- 17:00 閉会
- 17:00~18:00 交流会(別会場で参加者同志の交流を図る会費1,000円の立食会を開催します)

講師プロフィール

島村 美由紀 株式会社ラスアソシエイツ 代表取締役

神奈川県川崎市生まれ。ダイヤモンド社にて雑誌編集に携わり、小売業のマネジメントを経験後、ダブルスマーケティングにて、都市開発、大型商業施設開発、業態開発に携わる。1990年 株式会社ラスアソシエイツ設立、代表取締役。都市計画、商業施設計画、業態開発等のコンセプトワークやトータルプロデュースを手掛ける。また、マーケッターとして生活者の意識変化や流行現象をいち早く察知し、独自の視点で消費状況を分析することを得意とし、雑誌やセミナー等で発表している。札幌駅ビル「札幌ステラプレイス」等多数の商業施設開発。国土交通省 地域振興アドバイザー。

発表する先進事例

(1) 道の駅 水辺の郷おおやま(地域のブランド化)

「梅栗植えてハワイに行こう!」で有名な大分県大山町(現・日田市)は、一村一品運動のさきがけとなった町であり、稲作に依存しない農業への脱皮に1960年代から取り組んできた。道の駅水辺の郷おおやまは、農産物を利用した加工品やリキュール類などの特産品を積極的に展開し、「豊後大山」のブランド化を推進している。

(2) 道の駅 賤母(特産品の販路拡大)

木曽地方から美濃にかけてのエリアは五平餅の故郷としてつとに知られているが、特に馬籠宿で名高い長野県山口市(現・岐阜県中津川市)のものは団子型であるところに特徴がある。同村が開設した「木曽ごへ〜本舗」が道の駅賤母などで売り出した「ごへ〜もちのたれ」は、未知倶楽部ブランドの認定商品として、目下全国のマーケットを相手に販路を拡大中である。

(3) 道の駅 内子フレッシュパークからり(ITを活用した営業管理)

愛媛県内子町は、女性の力を活かした独自路線のまちづくりに取り組んできた。道の駅内子フレッシュパークからりでは、特産品販売所やレストラン、場内の工房において、地元の産品や手づくり品に強いこだわりをもった商品展開が行われている。ITを利用したトレーサビリティへの取り組みにおいても先駆的である。

(4) 道の駅 仁保の郷(地域通貨など地域づくり活動との協働)

山口県山口市の仁保地区は、地域住民が一体となり、昭和45年から「近代的いなか社会の建設」に取り組んできた。平成12年に、仁保地区の自治組織が中心となって、地域特産品の販売や地域情報の発信などの機能に加え、これからのむらづくりの拠点となる道の駅を平成12年に開業した。現在は、地域通貨をはじめ、様々な住民まちづくりの拠点となっている。

お申し込みにあたって

メール又は電話でお問合せいただいた方には、参加申込書をFAX送付させていただきます。参加申込書をご記入の上、FAXでお申込み下さい。なお、受講票は発行いたしません。参加申込書兼受講票を当日受付にお持ち下さい。

受講料はセミナー開催当日までにお振込み下さい（未知倶楽部web登録会員（個人）ならびに未知倶楽部web登録道の駅関係者は無料です）。お振込手数料は、貴社にてご負担下さい。なお、現金での取り扱いはいたしておりません。

請求書が必要な方には、郵送いたします。なお、請求書はお申込書記載住所の参加者代表者様宛てに郵送させていただきます。

申込み締め切りは、7月3日（月）とさせていただきます。参加登録キャンセルは、開催3日前（受講料のお振込前に限り）までお受けします。受講料のお振込後の払い戻しはお受けできませんのでご了承下さい。お申込者のご都合がつかない場合は、代理の方にご出席いただくか、資料郵送に代えさせていただきます。

受講料

一名様につき3,000円(税込) (未知倶楽部web登録会員(個人)ならびに未知倶楽部web登録道の駅関係者は無料です)

問合せ先

株式会社日本総合研究所 研究事業本部 東京都千代田区一番町16番

内容照会:金子 和夫

申込照会:桜井 友香

:03-3288-4106

お振込先

三井住友銀行 青山支店 普通預金 No.557391

株式会社日本総合研究所 カ)ニホンソウゴウケンキュウショ

会場地図



平成18年7月10日（月）13時30分～18時

全国情報サービス産業厚生年金基金（JJK）会館
2階 多目的ホール

東京都中央区築地4-1-14

（03）3546-5151

地下鉄：

《浅草線・日比谷線》東銀座駅 6番出口 徒歩3分
《大江戸線》築地市場駅 A3出口 徒歩3分